

NWQグローバル厳選証券ファンド(為替ヘッジあり／為替ヘッジなし)

(愛称:選択の達人)

設定後の運用状況について

2018年10月12日

※当資料は、エヌ・ダブリュー・キュー・インベストメント・マネジメント・カンパニーが提供するコメントを基に大和投資信託が作成したものです。

平素は、「NWQグローバル厳選証券ファンド(愛称:選択の達人)(為替ヘッジあり／為替ヘッジなし)」をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。

当ファンドの設定後の運用状況について、お知らせいたします。

《基準価額・純資産の推移、組入ファンドの状況》

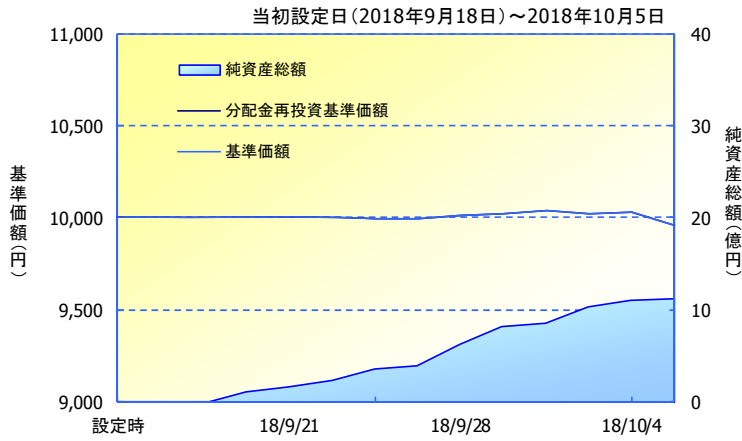
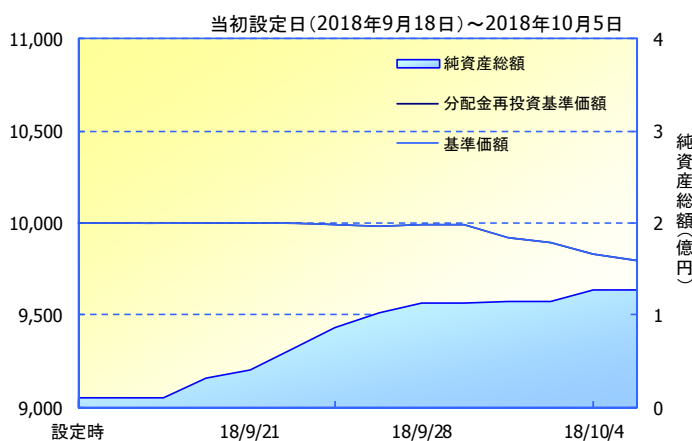
2018年10月5日現在

＜為替ヘッジあり＞

＜為替ヘッジなし＞

基準価額	9,792 円
純資産総額	127百万円

基準価額	9,961 円
純資産総額	11億円



組入ファンド	合計98.9%
ファンド名	比率
スピーン・エヌ・ダブリュー・キュー・フレキシブル・インカム・ファンド(円ヘッジ・クラス)*	98.8%
ダイワ・マネー・マザーファンド	0.0%

組入ファンド	合計96.6%
ファンド名	比率
スピーン・エヌ・ダブリュー・キュー・フレキシブル・インカム・ファンド(ヘッジなし・クラス)*	96.6%
ダイワ・マネー・マザーファンド	0.0%

※「分配金再投資基準価額」は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。
 ※基準価額の計算において、実質的な運用管理費用(信託報酬)は控除しています(後述のファンドの費用をご覧ください)。
 ※組入ファンドの比率は、純資産総額に対するものです。
 *ファンド名は略称です。ファンドの詳細については、「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。
 ※過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものです。■当ファンドのお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。■投資信託は、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。■投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。■当資料は、信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮していませんので、投資者のみなさまの実質的な投資成果を示すものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は資料作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。■当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。■分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒ 大和投資信託 フリーダイヤル0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>

※以下のポートフォリオ概要は、エヌ・ダブリュー・キュー・インベストメント・マネジメント・カンパニーの提供するデータを基に大和投資信託が作成したものです。

<<ヌビーン・エヌ・ダブリュー・キュー・フレキシブル・インカム・ファンドのポートフォリオ概要>>
 2018年10月4日現在

資産別構成	
資産	比率
投資適格社債	16.3%
ハイイールド債券	36.6%
優先証券	18.0%
転換社債	7.5%
株式	16.5%
現金	5.2%
合計	100.0%

ポートフォリオ特性値	
銘柄数	126
最終利回り	5.5%
直接利回り	5.8%
実効デュレーション	4.7

国・地域別構成		合計94.8%
国・地域名	比率	
米国	84.0%	
英国	3.7%	
カナダ	3.6%	
フランス	1.0%	
オランダ	0.9%	
ドイツ	0.8%	
ペルー	0.5%	
ベルギー	0.4%	

業種別構成		合計94.8%
業種名	比率	
資本財・サービス	60.2%	
銀行	14.8%	
公益	8.0%	
金融サービス	5.7%	
不動産	3.4%	
保険	2.8%	

債券 格付別構成		合計100.0%
格付別	比率	
AAA	6.2%	
AA	0.0%	
A	0.5%	
BBB	28.0%	
BB	38.7%	
B	17.6%	
無格付	8.9%	

※ポートフォリオ特性値の利回りは、ファンドの組入れ資産等の各特性値（直接利回り、最低利回り等）を、その組入比率で加重平均したものです。なお株式は配当利回りの値を用いています。

※資産別構成、国・地域別構成、業種別構成の比率は、投資対象ファンドの純資産総額に対するものです。

※債券格付け別構成の比率は債券ポートフォリオに対するものです。

※業種名は、原則としてエヌ・ダブリュー・キュー・インベストメント・マネジメント・カンパニーの分類によるものです。

※格付別構成については、Moody's、S&Pグローバル・レーティング、Fitchの格付けのうち最も高いものを採用し、算出しています。

※比率の合計は、四捨五入の関係で100%とならない場合があります。

※以下のポートフォリオ概要は、エヌ・ダブリュー・キュー・インベストメント・マネジメント・カンパニーの提供するデータを基に大和投資信託が作成したものです。

<<ヌビーン・エヌ・ダブリュー・キュー・フレキシブル・インカム・ファンドのポートフォリオ概要>>
 2018年10月4日現在

組入上位10銘柄			合計16.9%
銘柄名	資産名	銘柄概要	比率
バイアコム	投資適格社債	米国の大手メディア企業。テレビ、インターネット、モバイル機器、ゲーム向けの番組を制作する。映画の制作・資金調達・配給も手掛ける。	2.3%
ヒューレット・パッカード・エンタープライズ	投資適格社債	世界各地の顧客向けに情報技術ソリューション事業を展開。企業セキュリティ、分析・データ管理、アプリケーション開発・テスト、データセンターケア、クラウド・コンサルティング、ビジネスプロセスサービスなどを提供。	2.1%
シティグループ	優先証券	総合金融サービス持株会社。世界各地の個人・法人顧客に対して、投資銀行、個人向け証券仲介、法人向け銀行、資金管理など多様な金融サービスを提供。	1.8%
ファースト・データ	ハイイールド債券	電子決済サービス会社。同社のサービスは、企業の電子決済を可能にし、金融機関のクレジット、デビット、およびプリペイドカード発行や販売業者と消費者間の安全な取引を支援する。	1.6%
ノードストローム	投資適格社債	ファッション小売会社。男性、女性、子供用の衣料品、靴、アクセサリなどを販売。小売店、ディス カウントストア、ブティック、カタログ、インターネットを通して事業を展開。	1.6%
ナビエント	ハイイールド債券	教育ローン・ポートフォリオ管理会社。サービシングと資産回収を手掛ける。民間学生ローンのサービサー業務なども手掛ける。	1.5%
センチュリーリンク	ハイイールド債券	総合通信会社。主なサービスは、音声、市内・長距離電話、ネットワーク接続、特別アクセスを含む専用回線、公共アクセス、ブロードバンド、データ、無線、動画サービスなど。	1.5%
ブルー・キューブ・スピスコ	ハイイールド債券	苛性ソーダ関連製品の販売などに取り組む。同社が発行する債券は親会社である米化学製品大手オーリン社の保証が付いている。	1.5%
リバティ・メディア	転換社債	子会社やさまざまな上場企業への投資を通じて、メディア・通信・エンターテインメント業界向けのサービスを手掛ける。	1.5%
XPOロジスティクス	ハイイールド債券	物流会社。高速航空輸送、倉庫管理、貨物仲介、複合一貫輸送などを提供する。北米全域で事業を展開。	1.4%

※組入上位10銘柄の比率は、投資対象ファンドの純資産総額に対するものです。

<市場環境>

(世界の米ドル建資産)

株式市場では、対中貿易摩擦問題の経済への影響が深刻ではないとの見方などから、上昇して始まりました。しかし、ECB（欧州中央銀行）のドラギ総裁がインフレ懸念に言及したことなどを受けて欧米の長期金利が上昇したことや、月末に開催されたFOMC（米国連邦公開市場委員会）において政策金利の0.25%引き上げが予想通り実施され、パウエルFRB（米国連邦準備制度理事会）議長が記者会見で、今後の金融政策に変更なしと発言したことなどから、利益確定の売り圧力が強まりました。また、10月以降も米国の長期金利が上昇基調であったことを嫌気し、下落基調となりました。

債券市場では、金利はおおむね上昇しました（債券価格は下落）。米国の堅調な経済指標や継続的な利上げ見通しが高まったことや、欧州におけるインフレ懸念の高まりなどを受けて、金利はおおむね上昇しました。

このような市場環境下において、当ファンドが投資対象としている、株式、債券、優先証券は総じて軟調に推移しました。

(為替)

為替市場において、米ドルは対円で上昇しました。米国の堅調な経済指標や新興国市場への懸念が後退したこと、米国の金利上昇による日米金利差拡大見通しなどを受けて、米ドルが買われる（円が売られる）展開となりました。

<運用のポイント>

■ 投資適格社債

多くの米国企業で好決算がみられていることなどから投資適格社債の組入比率は高位に維持しています。ただし、雇用統計等の経済指標が堅調な結果を示していることなどを背景に金利先高観は根強いことから、デュレーションは市場平均に対して短めとしています。

■ ハイイールド債券

米国経済は好調で、投資適格級の企業同様、非投資適格級の発行体もその恩恵を受けています。企業ファンダメンタルズの改善等を受け、非投資適格企業のデフォルト率は過去平均対比で非常に低位な水準で安定的に推移しています。このトレンドは今後も継続するとみている中、当戦略においては高クーポンが享受できるハイイールド債券の組入比率を引き続き高位に維持しています。足元では、金利上昇による影響を受けにくいデュレーションの短いハイイールド債券に投資妙味が増したと判断し、相対的に高格付けであるBB格の組入比率を増加させました。

■ 優先証券

インフレ懸念及び米中貿易摩擦への懸念等を背景に、2018年前半はボラティリティ上昇によるセンチメントの悪化を受け、優先証券は売られる展開となりました。その後、インフレ懸念の後退や、米国金融機関のファンダメンタルズが引き続き好調であることなどを背景にセンチメントは改善し、相対的に高いインカム収入を享受できる優先証券への需要が高まり、市場は回復基調を示していますが、他資産クラス対比でやや割安感は薄れてきているという判断から、優先証券の組入比率は18%程度で維持しています。

■ 転換社債

2018年2～3月にみられたリスク資産におけるボラティリティ上昇を受け、市場のリスク回避的な動きが高まり、転換社債市場も下落する局面がみられました。しかし、その後は強い経済指標の発表等を受け米国経済の堅調な成長が示されたことなどを背景に株式市場は回復、それに伴い転換社債市場も上昇基調となりました。足元では、ポートフォリオにおける転換社債の組入比率は相対的に低位な水準に留めておりますが、市場の変動性が高まる局面において、株式から転換社債に配分を変更する可能性もあると考えています。

■ 株式

株式市場は堅調に推移する一方、引き続き米中貿易摩擦問題は長期化しており、今後米国企業や経済活動に影響を及ぼすようなより深刻な貿易戦争へと発展する可能性が考えられます。また、米国の中間選挙が11月に迫っており、潜在的なリスクや不透明感のあるイベントが控えていることを考慮した運用を行っています。

<今後の見通し>

NWQ社では、2018年後半も市場では変動性の高い展開が継続するとみているものの、米国経済および企業業績は引き続き堅調に推移すると考えており、株式・社債とも強気の見通しを維持しています。米国債2年、10年の利回り格差は低位な水準で推移しており、投資家の中には経済トレンドの反転に対する懸念が高まっています。また、足元では米中の貿易摩擦が一層深刻化し、貿易戦争へと発展する可能性も危惧されている状況です。当該リスクは市場では大部分が織り込まれておりますが、一部に不十分な市場もみられ、今後は一時的にボラティリティが高まる局面も想定されます。米国の中間選挙を目前に控える中、通商交渉に関してトランプ政権が現在の強硬姿勢を今後も維持するのかについて不透明感が高まっています。しかしながら、米国経済および企業のファンダメンタルズが好調な中で、非投資適格企業におけるデフォルト率は引き続き低位で推移しており、現在のトレンドは2019年も継続すると考えています。

<今後の運用方針>

2018年初頭からの米国長期金利の上昇に伴い、当戦略においては金利感応度を低位に抑制するために市場対比でデュレーションを短期化しました。年初にみられたような急激な金利の上昇は見込まれないものの、米国の利上げ継続に伴う緩やかな長期金利上昇が想定されるため、引き続きデュレーションを短期に抑えた中で投資妙味のある銘柄にフォーカスして投資を行っています。足元では、米国経済の堅調な成長を背景に企業ファンダメンタルズは今後も堅調に推移すると考えており、年初来のスプレッド（国債との利回り格差）ワイド化からリスク対比投資妙味が高まったとの判断から、主に投資適格社債、ハイイールド債券の組入比率を高位に維持しています。現在のクレジットスプレッドはリスク対比で魅力的な水準にあるとみています。今後の市場環境においては、投資銘柄および企業の選定が資産クラス配分よりも一層重要になると考えており、年末にかけてボトム・アップ分析を重視した銘柄選択が重要なリターンの源泉になっていくとみています。

NWQグローバル厳選証券ファンド(為替ヘッジあり／為替ヘッジなし) (愛称:選択の達人)

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

ファンドの目的・特色

ファンドの目的

- 世界の米ドル建資産に投資を行ない、高水準のインカムと魅力的なリスク調整後リターンを追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。

ファンドの特色

1. 世界の米ドル建資産（株式、債券、優先証券など）に投資します。投資にあたっては、有望企業を選別のうえ、その企業が発行する証券の中で相対的に魅力度の高い証券を選択します。
 - ◆ ボトムアップ・アプローチにより、個別企業の財務状況、成長性や価格変動のきっかけとなる事象などに着目した評価・分析を行ない、有望企業を選別します。
 - ◆ 同一企業が異なるタイプの証券を発行している場合は、リスク・リターン効率などに着目して、相対的に魅力度の高い証券に投資します。
 - ◆ 運用は、エヌ・ダブリュー・キュー・インベストメント・マネジメント・カンパニーが行ないます。
2. 「為替ヘッジあり」と「為替ヘッジなし」の2つのファンドがあります。

為替ヘッジあり

 - ◆ 為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行ないます。

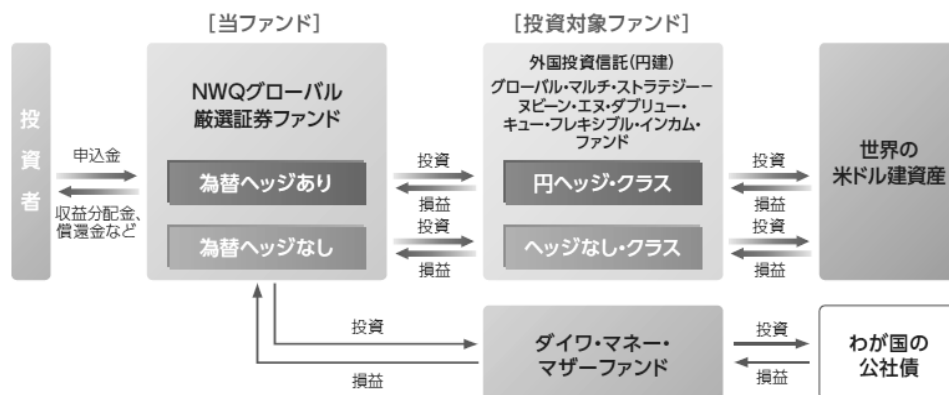
ただし、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。為替ヘッジを行なう際、日本円の金利が組入資産の通貨の金利より低いときには、金利差相当分がコストとなり、需給要因等によっては、さらにコストが拡大することもあります。

為替ヘッジなし

 - ◆ 為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。

基準価額は、為替変動の影響を直接受けます。

販売会社によっては「為替ヘッジあり」または「為替ヘッジなし」のどちらか一方のみのお取扱いとなる場合があります。くわしくは販売会社にお問合わせ下さい。
3. 当ファンドは、複数の投資信託証券に投資する「ファンド・オブ・ファンズ」です。外国投資信託の受益証券を通じて、世界の米ドル建資産に投資します。



- ◆ 各ファンドの略称としてそれぞれ次を用いることがあります。
NWQグローバル厳選証券ファンド(為替ヘッジあり)：為替ヘッジあり
NWQグローバル厳選証券ファンド(為替ヘッジなし)：為替ヘッジなし
- ◆ 各ファンドの総称を「NWQグローバル厳選証券ファンド」とします。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「ファンドの目的・特色」をご覧ください。

NWQグローバル厳選証券ファンド(為替ヘッジあり／為替ヘッジなし)
(愛称:選択の達人)

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

投資リスク

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。
- 「価格変動リスク・信用リスク（株価の変動、公社債の価格変動、その他の価格変動）」、「為替変動リスク」、「ントリー・リスク」、「その他（解約申込みに伴うリスク等）」
- ※新興国には先進国とは異なる新興国市場のリスクなどがあります。
- ※「為替ヘッジあり」は、為替ヘッジを行ないませんが、影響をすべて排除できるわけではありません。なお、為替ヘッジを行なう際、日本円の金利が組入資産の通貨の金利より低いときには、金利差相当分がコストとなり、需給要因等によっては、さらにコストが拡大することもあります。
- ※「為替ヘッジなし」は、為替ヘッジを行なわないので、基準価額は、為替レートの変動の影響を直接受けます。
- ※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。
- ※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご覧ください。

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
購入時手数料	販売会社が別に定める率 〈上限〉3.24%(税抜3.0%)	購入時の商品説明または商品情報の提供、投資情報の提供、取引執行等の対価です。
信託財産留保額	ありません。	—
投資者が信託財産で間接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
運用管理費用 (信託報酬)	年率 1.107% (税抜 1.025%)	運用管理費用の総額は、日々の信託財産の純資産総額に対して左記の率を乗じて得た額とします。
投資対象とする 投資信託証券	年率 0.55%程度	投資対象ファンドにおける運用管理費用等です。
実質的に負担する 運用管理費用	年率 1.657% (税込) 程度	
その他の費用・ 手数料	(注)	監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。

(注)「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※購入時手数料について、くわしくは販売会社にお問合わせください。

※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご覧ください。

設定・運用：

大和投資信託
Daiwa Asset Management

商号等

大和証券投資信託委託株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第352号

加入協会

一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会

NWQグローバル厳選証券ファンド（為替ヘッジあり／為替ヘッジなし）（愛称：選択の達人） 取扱い販売会社

販売会社名（業態別、50音順） （金融商品取引業者名）		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 第二種金融商 品取引業協会
大和証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第108号	○	○	○	○
めぶき証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第1771号	○			

上記の販売会社については今後変更となる場合があります。また、新規のご購入の取り扱いを行っていない場合がありますので、各販売会社にご確認ください。